

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなで考えよう！地球環境のこと
事業主体 (連絡先)	木曾町 環境水道課 TEL：0264-22-3320
事業区分	(5)環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	390,082円 (うち支援金：302,000円)

### 事業内容

- 木曾子ども参観日に親子SDGs教室を開催  
「園児向けデジタルのSDGs紙芝居」「SDGsのマークを探そう」の学習メニューによりSDGsを親子で学んだ。オリジナルマイバックに園児が色塗りした絵柄を印刷し配布した。(参加者 57名)
- 団体へ、SDGs学習会を開催  
「大人向けデジタルSDGs」により、学習会を開催した。(参加者 3団体40名)
- 参加者募集し、SDGs学習会を開催  
「大人向けデジタルのSDGs紙芝居」「SDGsババ抜きカードゲーム」によりSDGsについて学習した。(参加者 16名)



【SDGs学習会の様子】

### 【目標・ねらい】

- ① 環境問題を学ぶ
- ② 日常生活で環境保全のため何ができるか考え行動する
- ③ レジ袋→マイバッグ転換啓発

### 事業効果

- ① 学習終了後に小学3年生以上の参加者にアンケートを実施した。回答者の8割以上が満足している結果が得られた。「スライドを使って分かりやすい説明」「SDGsについて理解が進んだ」「日々の生活の目標ができた」などの感想をいただいた。
- ② 学んだSDGsのゴールに関して「今日からわたしにできること」について考えていただき「食品ロスをなくす」「環境に配慮した商品を購入する」「海に流れ込まないようごみを拾う」など宣言をいただいた。
- ③ 作成したマイバックの買い物での利用率80%

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

参加者が想定より少なかったが、参加者から学習会について満足度が高い結果を得る事が出来た。参加者募集の工夫が必要と認識している。

### 今後の取り組み

アンケートの結果、より多くの方への学習会開催を望む声があった。学習会の内容を検討しながら今後も継続する。小中学生での開催を学校へ呼びかけており、小中学生期での学習機会を提供する。団体等へも学習会開催を引き続き呼びかける。

また、作成したマイバックの活用、レジ袋の購入がどれだけ減少したのか、学習会後の環境に配慮した実践行動など、今回参加された方にアンケート調査を継続実施し、学習会の成果を検証したい。ゼロカーボン達成のためには、住民一人一人の日々の行動も重要であるため、より多くの住民が参加できるよう配慮したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある